

2017年11月21日
日興アセットマネジメント株式会社



当ファンドの特徴と 運用状況について

「新ソブ」は世界から「信頼できる国々」を厳選し、信用力の高いソブリン債に投資を行なうファンドです。2009年7月に運用を開始して以降、投資環境の変化に柔軟に対応し、相対的に魅力的な投資対象国の選定に努めて参りました。近年、債券市場を取り巻く投資環境が悪化する局面もあったものの、昨年半ば以降、当ファンドは堅調なパフォーマンスを回復しています。

本資料では、当ファンドのパフォーマンスを支える特徴と、足元の運用状況についてご紹介いたします。

設定来の運用実績

<基準価額の推移>

(2009年7月31日(設定日)～2017年10月31日)



(2017年10月31日現在)

設定来騰落率
(税引前分配金再投資ベース)
43.47%

純資産総額
38.78 億円

<分配金実績 (1万口当たり、税引前)>

(2017年10月31日現在)

2009年9月～ 2009年10月	2009年11月～ 2012年1月	2012年2月～ 2017年10月	直近1年間合計	設定来合計
45円 / 月	50円 / 月	40円 / 月	480円	4,200円

- ※ 基準価額は信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後の1万口当たりの値です。
- ※ 税引前分配金再投資ベースとは、税引前分配金を再投資したもものとして計算した理論上のものであることにご留意ください。
- ※ 分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配金額を変更する場合や分配を行わない場合もあります。
- ※ 将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

※上記は過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

■当資料は、投資者の皆様へ「新ソブ」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

新ソブ

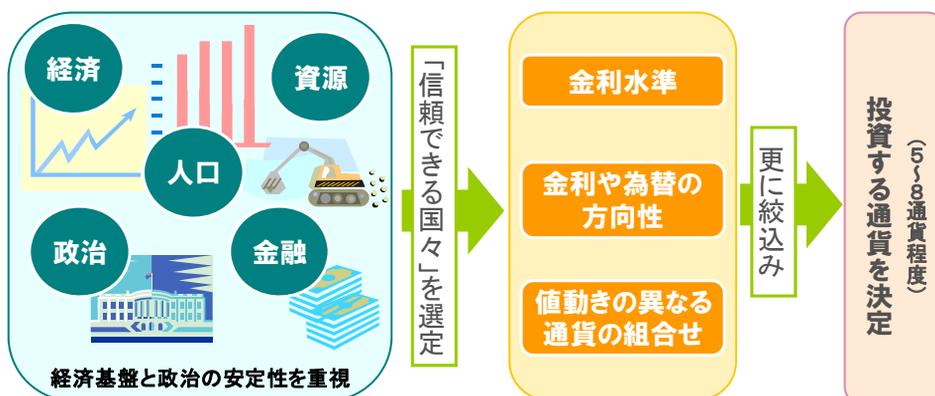
当ファンドのパフォーマンスを支える特徴

信頼できる国々のソブリン債を投資対象とします

- 当ファンドは、世界から「信頼できる国々」を選定し、その中から「相対的に高金利」の国の通貨を厳選します。さらに、各通貨への投資においては、信用力の高いソブリン債を投資対象とします。
- 投資する国(通貨)は随時見直しを行っており、投資環境の変化に応じて相対的に投資魅力度が高いと考えられる国を選別します。

投資対象国(通貨)の選定

「信頼できる国々」とは、経済・金融市場分析に加え、経済を取り巻く環境(政治、人口、資源など)を考慮して相対的に投資魅力度が高いと日興アセットマネジメントが判断する国々です。



※上記の項目は例であり、これら以外にも判断項目や絞り込み条件があります。

●投資する通貨は随時見直します。

＜「信頼できる国々」から厳選した国の金利水準＞



※各国金利は10年国債、世界はシティ世界国債インデックス(除く日本)の利回りです。
 ※上記の国への投資を推奨したり、当ファンドへの組入れを約束するものではありません。
 ※信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが作成。

※上記は過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

■当資料は、投資者の皆様にご理解を深めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

新ソブ

設定来の投資通貨について

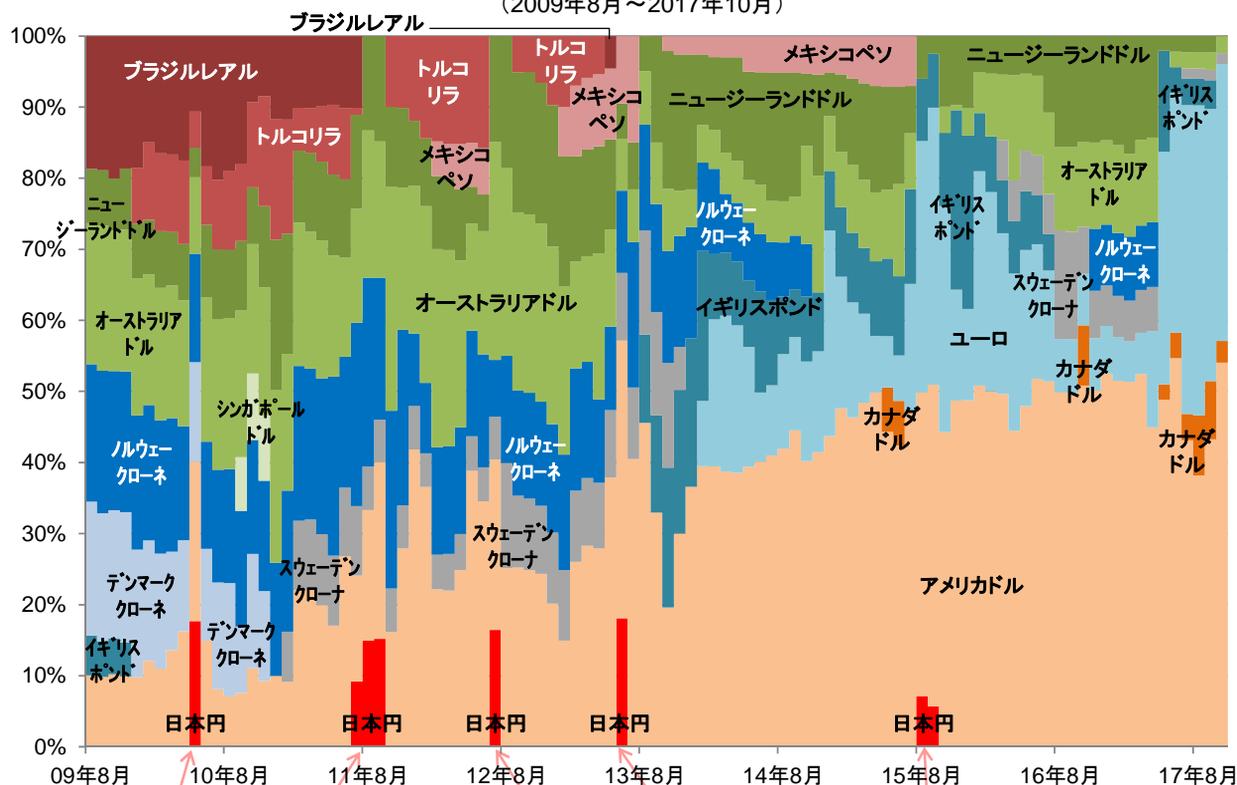
投資環境の変化に応じ、機動的に投資国(通貨)を見直し

- 当ファンドではこれまで、投資環境の変化に応じて、投資通貨や投資比率を随時見直しながら運用を行ってきました。2013年半ばまでは、ブラジルやトルコなどの新興国や、オーストラリア、ニュージーランドといった、先進国の中でも比較的金利水準の高い国の通貨を中心に投資を行ないました。
- 2013年半ば以降は、米国の量的緩和縮小観測を背景に、新興国通貨の比率を減らし、通貨の上昇が期待されたアメリカドルやイギリスポンドなどを中心に投資を行ないました。その後、2014年以降はユーロの組入れを開始するなど、より保守的なポートフォリオとし、原油価格が下落傾向となった2014年半ばには産油国通貨であるノルウェークローネを売却するなど、機動的な運用を行ないました。
- 足元では、各地の景気動向や金融政策などを勘案し、底堅い推移が期待されるアメリカドルやユーロを中心に運用を行なっています。
- また、当ファンドでは、基準価額の変動を抑えることをめざし、金融市場の変動が大きくなると判断される局面において、円建債券に最大50%まで投資を行ないます*。設定以降、下グラフの「日本円」記載の期間において円建債券を組入れ、基準価額の下落幅の抑制に努めました。

* 金融市場の変動が大きくなった場合、必ず円建て債券に投資することを約束するものではありません。

＜債券通貨別投資比率(各月末)の推移＞

(2009年8月～2017年10月)



ギリシャ財政問題の深刻化
 米国債務上限問題と世界的な景気減速懸念の高まり
 欧州債務問題の深刻化
 米国の量的緩和縮小観測の高まり
 中国人民元の切り下げを契機とした新興国の景気減速懸念

※比率は、当ファンドのマザーファンドの対組入債券評価額比です。

※上記は過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

■当資料は、投資者の皆様へ「新ソブ」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

直近1年間の市場環境と投資行動について

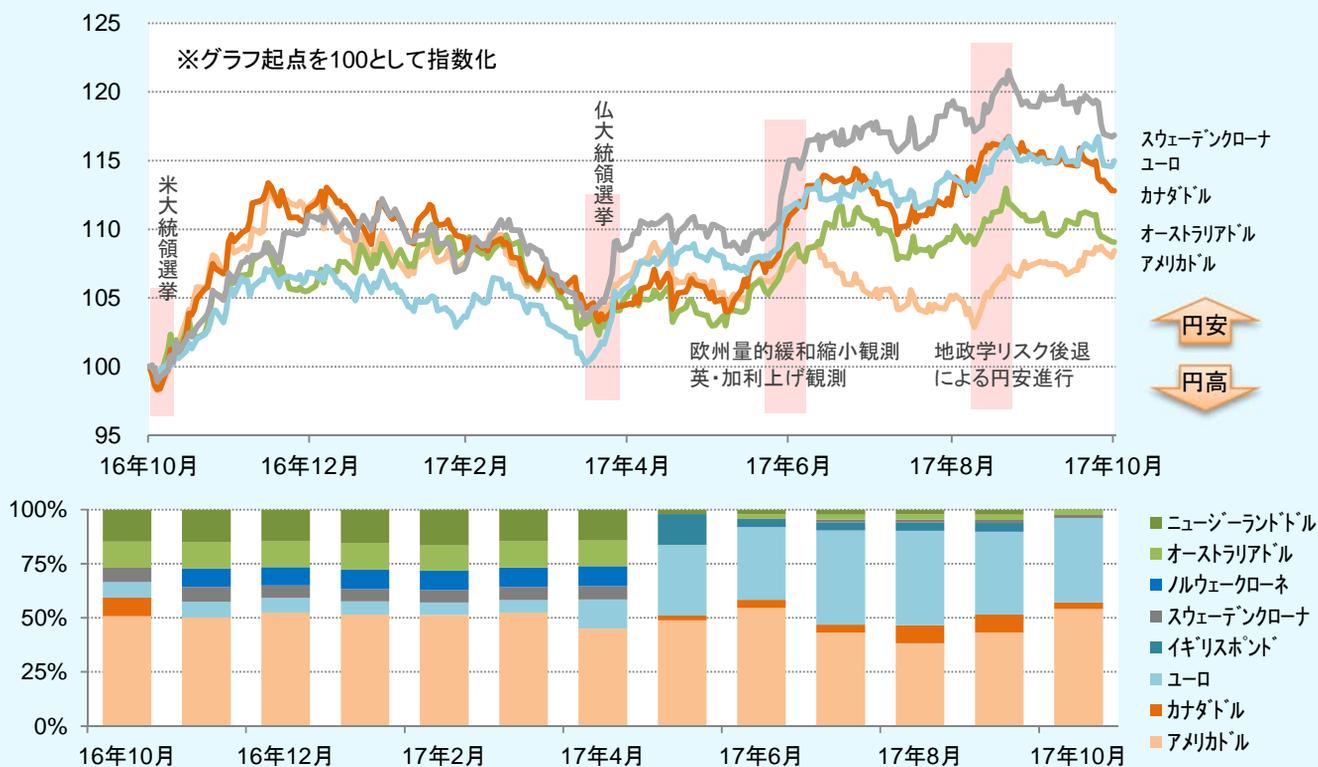
地政学リスクや各国の金融政策動向に慎重に対応

- 昨年10月末以降、当ファンドを取り巻く投資環境は、概ね良好な状況が続きました。堅調な景気を背景に金融政策の正常化が進む米国は、通貨の上昇期待に加え、債券利回りの面でも投資妙味が高いと考えられ、期間を通してアメリカドルの比率を高めに維持しました。
- 今年4月以降は、欧州景気の改善と、ECB(欧州中央銀行)による量的緩和の縮小観測の高まりを背景にユーロの上昇が期待できると考え、政治の安定性や金利のバランスなどを考慮して、ドイツ、フランス、ベルギーなどの債券を組入れました。ただし、今後の金融政策に対し、ECBは慎重な姿勢で臨むとみられることから、動向を注視しつつ、柔軟な対応を行なう方針です。
- 今年5月には、地政学リスクの上昇や資源価格の下落などを背景に、高金利通貨の下落リスクが高まったと判断し、オーストラリアドルやノルウェークローネなどの比率を引き下げました。その後、原油価格が上昇傾向となったことを受けて、5月以降は景気が相対的に良好なカナダドルの組入れを行ないました。
- 足元の金融市場では、世界的に株高となるなど、市場心理は改善基調にあります。そのため、今後は地政学リスクや通貨の上昇速度なども勘案しつつ、より値動きの大きい通貨の組入れについても慎重に検討する方針です。

＜投資通貨*(対円レート)と債券通貨別投資比率(各月末)の推移＞

(2016年10月末～2017年10月末)

*投資通貨は2017年10月末現在



※債券通貨別投資比率は、当ファンドのマザーファンドの対組入債券評価額比です。

※信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが作成

※上記は過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

■当資料は、投資者の皆様にご理解を深めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

新ソブ

外国債券投資の魅力について

安定したインカム収益と為替差益の獲得期待

- 2017年半ば以降、堅調な景気回復を背景に、米国に続いてカナダや英国でも利上げが実施されたほか、10月にはECB(欧州中央銀行)が量的緩和の縮小を決定するなど、各主要先進国において金融政策の正常化が進みつつあります。こうしたなか、日銀は引き続き物価安定目標の実現に向けた緩和的な金融政策を維持しており、諸外国との金利水準差は更に拡大していくものと見込まれます。
- 為替市場では今後、内外金利差の拡大により円安が進行する可能性が考えられ、外国債券ファンドの魅力が改めて見直されるものとみられます。



市場の変化に機動的に対応しつつ、長期投資で安定的なインカム収益が期待される
“新ソブ”の投資魅力が高まると考えられます

(ご参考) 過去3年間の為替の推移について

<期間中の投資通貨*(対円レート)の推移>
 (2014年10月末~2017年10月末)



* 記載の期間に投資を行った全ての通貨を掲載していますが、投資時期は各通貨によって異なります。

※信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが作成

※上記は過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

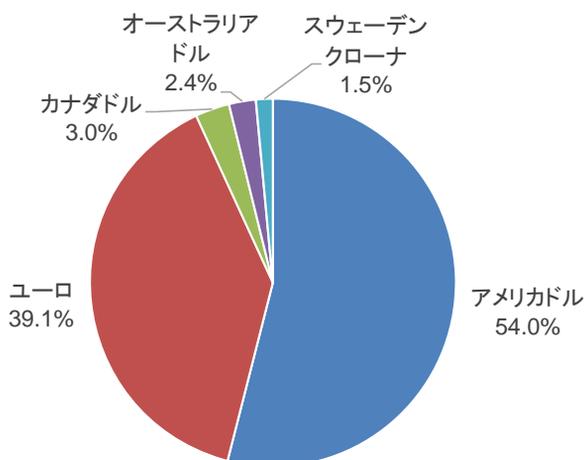
■当資料は、投資者の皆様にご理解を深めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。



ポートフォリオの内容 (2017年10月31日現在)

※当ファンドのマザーファンドの内容です。

<債券通貨別投資比率>



<債券格付別構成比率>

AAA	45.8%
AA	54.2%
A以下	0.0%
無格付	0.0%

※格付はS&P社の表記を使用しています。

<債券セクター別構成比率>

国債	67.5%
政府保証債・政府機関債	16.5%
国際機関債	4.0%
その他	12.0%

<利回り等>

平均最終利回り	1.38%
平均直接利回り	2.13%
平均デュレーション	6.6年
平均残存期間	7.8年

※「債券通貨別投資比率」「債券セクター別構成比率」「債券格付別構成比率」は、対組入債券評価額の比率です。
 ※「利回り等」は、個別債券について加重平均したものです。利回りは、将来得られる期待利回りを示すものではありません。
 ※各数値は四捨五入して表示している場合がありますので、それを用いて計算すると誤差が生じることがあります。

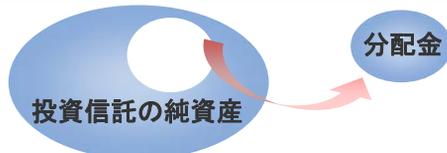
※上記は過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

■当資料は、投資者の皆様へ「新ソブ」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

収益分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

投資信託で分配金が支払われるイメージ

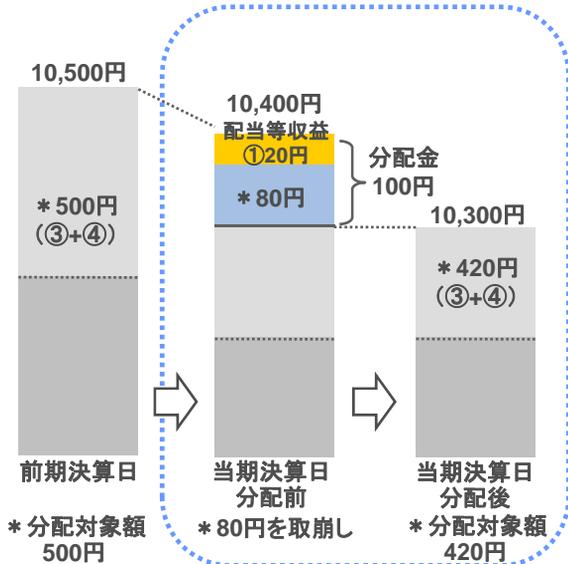
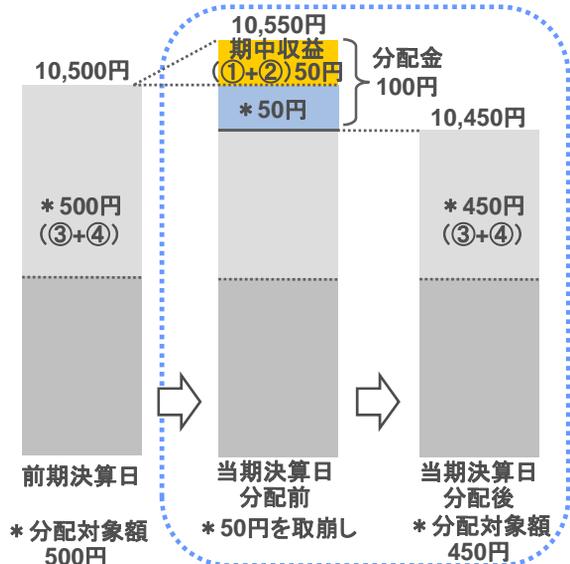


- 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

前期決算から基準価額が上昇した場合

前期決算から基準価額が下落した場合

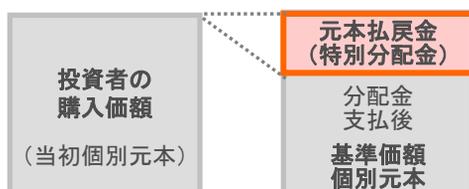
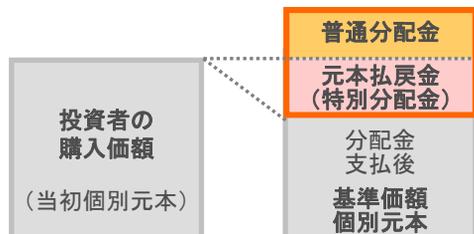


(注)分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。
※上記はイメージであり、将来の分配金の支払いおよび金額ならびに基準価額について示唆、保証するものではありません。

- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりの方が小さかった場合も同様です。

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合

分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



※元本払戻金(特別分配金)は実質的に元本の一部払戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。また、元本払戻金(特別分配金)部分は非課税扱いとなります。

普通分配金 : 個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。

元本払戻金 : 個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、(特別分配金) 元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

ファンドの特色

1. 世界から「信頼できる国々」を選定し、その中から「相対的に高金利」の国の通貨を厳選します。
2. 信用力の高いソブリン債に投資を行いません。
3. 金融市場の変動が大きくなると判断される局面では、円建債券に最大50%まで投資を行いません。
4. 毎月、安定した収益分配を行なうことをめざします。
 - 分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配金額を変更する場合や分配を行わない場合もあります。

※市況動向および資金動向などにより、上記のような運用が行なえない場合があります。

お申込みに際しての留意事項

■リスク情報

投資者の皆様は投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者(受益者)の皆様に帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。

当ファンドは、主に債券を実質的な投資対象としますので、債券の価格の下落や、債券の発行体の財務状況や業績の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。

主なリスクは以下の通りです。

【価格変動リスク】【流動性リスク】【信用リスク】【為替変動リスク】【カントリー・リスク】

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

■その他の留意事項

- 当資料は、投資者の皆様は「新ソブ」へのご理解を高めいただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- 投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様に帰属します。当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書(交付目論見書)などを販売会社よりお渡ししますので、内容を必ずご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。

お申込メモ

商品分類	: 追加型投信／内外／債券
ご購入単位	: 購入単位につきましては、販売会社または委託会社の照会先にお問い合わせください。
ご購入価額	: 購入申込受付日の翌営業日の基準価額
ご購入不可日	: 購入申込日が英国証券取引所の休業日、ニューヨーク証券取引所の休業日、ロンドンの銀行休業日、ニューヨークの銀行休業日のいずれかに当たる場合は購入のお申込みの受付は行ないません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
信託期間	: 2024年6月18日まで(2009年7月31日設定)
決算日	: 毎月18日(休業日の場合は翌営業日)
ご換金不可日	: 換金請求日が英国証券取引所の休業日、ニューヨーク証券取引所の休業日、ロンドンの銀行休業日、ニューヨークの銀行休業日のいずれかに当たる場合は換金請求の受付は行ないません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
ご換金代金のお支払い	: 原則として、換金請求受付日から起算して5営業日目からお支払いします。

手数料等の概要

お客様には、以下の費用をご負担いただきます。

<お申込時、ご換金時にご負担いただく費用>

- 購入時手数料 : 購入時手数料率は3.24%(税抜3.0%)を上限として販売会社が定める率とします。
※ 分配金再投資コースの場合、収益分配金の再投資により取得する口数については、購入時手数料はかかりません。
- 換金手数料 : ありません。
- 信託財産留保額 : ありません。

<信託財産で間接的にご負担いただく(ファンドから支払われる)費用>

- 信託報酬 : 純資産総額に対して年率1.35%(税抜1.25%)を乗じて得た額
- その他費用 : 目論見書などの作成・交付にかかる費用および監査費用などについては、ファンドの日々の純資産総額に対して年率0.1%を乗じた額の信託期間を通じた合計を上限とする額が信託財産から支払われます。
組入有価証券の売買委託手数料、借入金の利息、立替金の利息および貸付有価証券関連報酬(有価証券の貸付を行なった場合は、信託財産の収益となる品賃料に0.54(税抜0.5)を乗じて得た額)などについては、その都度、信託財産から支払われます。
※ 組入有価証券の売買委託手数料などは、運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを示すことはできません。

※当ファンドの手数料などの合計額については、投資者の皆様がファンドを保有される期間などに応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

委託会社、その他関係法人

- 委託会社 : 日興アセットマネジメント株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第368号
 加入協会: 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、
 日本証券業協会
- 投資顧問会社 : 日興アセットマネジメント アメリカズ・インク
 日興アセットマネジメント ヨーロッパ リミテッド
- 受託会社 : 三菱UFJ信託銀行株式会社
- 販売会社 : 販売会社については下記にお問い合わせください。
 日興アセットマネジメント株式会社
 [ホームページ] <http://www.nikkoam.com/>
 [コールセンター] 0120-25-1404(午前9時~午後5時。土、日、祝・休日は除く。)

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

金融商品取引業者等の名称	登録番号	加入協会				
		日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会	
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
ぐんぎん証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2938号	○			
株式会社群馬銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第46号	○		○	
スルガ銀行株式会社	登録金融機関	東海財務局長(登金)第8号	○			
高木証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第20号	○			
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第165号	○	○	○	
株式会社南日本銀行	登録金融機関	九州財務局長(登金)第8号	○			
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○

(50音順、資料作成日現在)